

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 25 年 6 月

小 松 商 工 会 議 所

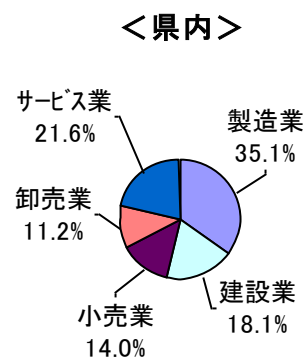
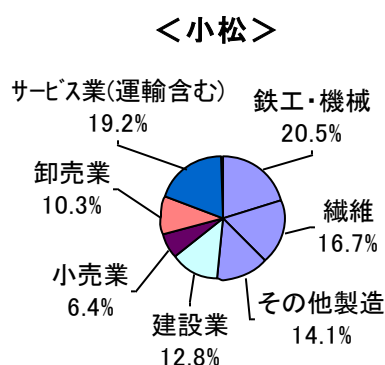
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 78企業（回収率 34.7%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	16	153
繊維	13	
その他製造	11	
建設業	10	79
小売業	5	61
卸売業	8	49
サービス業(運輸含む)	15	94
合計	78	436



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 ……平成 24 年度第 4 四半期(平成 25 年 1 月～3 月)

今 期 ……平成 25 年度第 1 四半期(平成 25 年 4 月～6 月、但し 6 月は見込み)

来 期 ……平成 25 年度第 2 四半期(平成 25 年 7 月～9 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	6	6	2	4	4	2	2	3	1	0	0	1	0	1
不 変	9	9	11	8	5	9	5	5	2	2	5	6	10	11
悪 化	1	1	0	1	2	0	3	2	2	3	3	1	5	3
総 計	16		13		11		10		5		8		15	

(1)-2 DI値

(単位: DI)

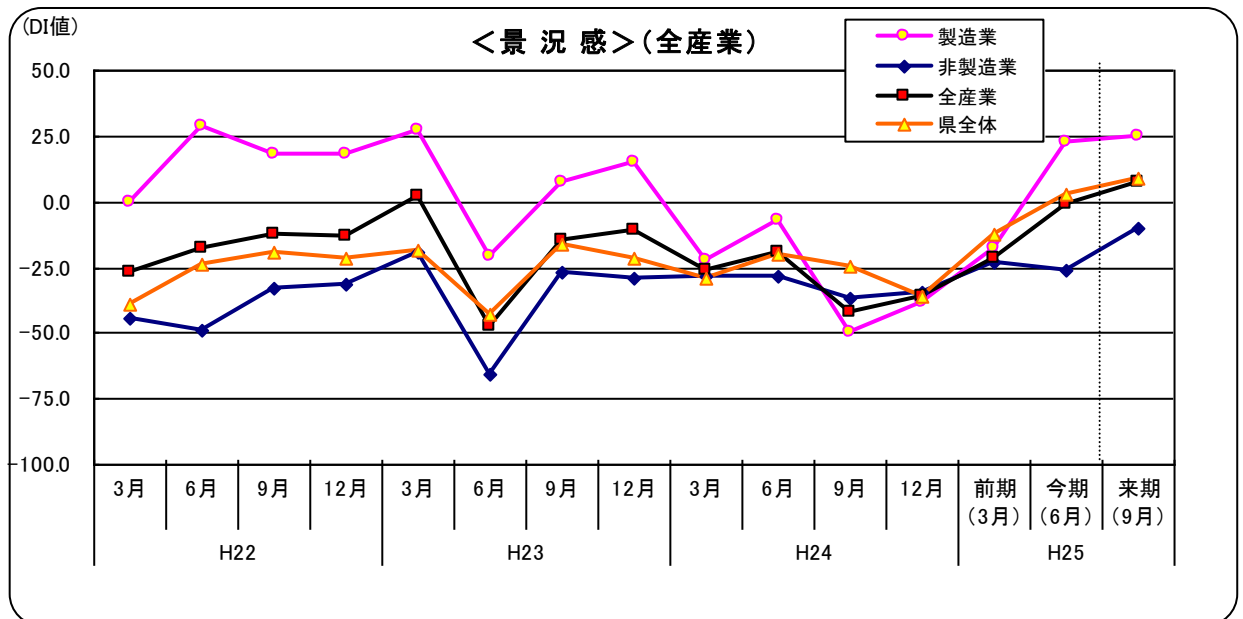
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製 造 業	鉄工・機械	▲ 7.1	—	31.3	—	31.3	—
	繊維	▲ 33.3	—	15.4	—	23.1	—
	その他製造	▲ 18.8	—	18.2	—	18.2	—
	製造計	▲ 17.9	▲ 17.1	22.5	4.5	25.0	15.0
非 製 造 業	建設業	▲ 5.3	2.7	▲ 10.0	19.5	10.0	25.3
	小売業	▲ 40.0	▲ 10.8	▲ 20.0	▲ 11.5	▲ 60.0	▲ 20.3
	卸売業	▲ 14.3	▲ 19.7	▲ 37.5	0.0	0.0	10.2
	サービス業(運輸含む)	▲ 34.5	▲ 15.3	▲ 33.3	▲ 4.3	▲ 13.3	4.4
	非製造計	▲ 23.3	▲ 9.7	▲ 26.3	1.4	▲ 10.5	5.9
全 体		▲ 21.2	▲ 12.2	▲ 1.3	2.5	7.7	9.2
改善予測		7.8	18.7	9.0	6.6	—	—

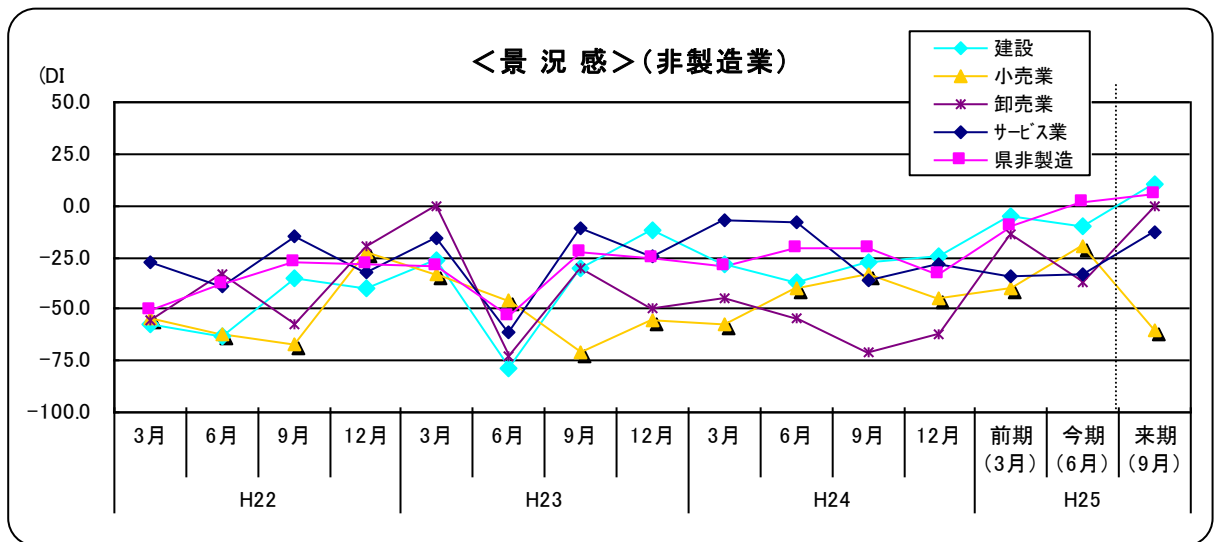
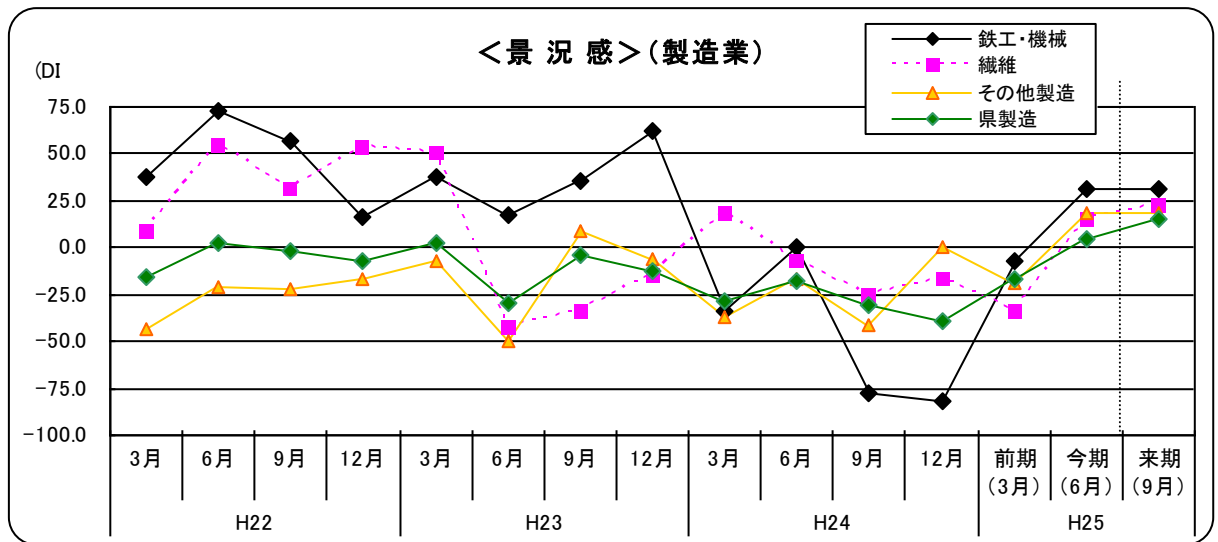
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期▲7.1ポイントだったが、今期は31.3ポイントと回復。来期も31.3ポイントと横ばいの見通しを示している。繊維においては前期が▲33.3ポイントであったが、今期は15.4ポイントと回復、来期が23.1ポイントと更に回復の見通しを示している。その他製造業においても、前期から今期にかけて回復しており来期は横這いの見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲5.3ポイントから今期▲10.0ポイントと悪化傾向にあり、来期が10.0ポイントと回復の予測が伺える。小売については今期20.0ポイント回復、卸売は23.2ポイント悪化、サービス業は1.2ポイント回復となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H25.6)			来期(H25.9)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	22.5	0	▲6	↗ 25.0	↗ 5	↗ ▲2	40社
非製造業	▲26.3	▲4	1	↗ ▲10.5	↗ ▲1	↗ 2	38社
全体	▲1.3	▲3	▲2	↗ 7.7	↗ 2	↗ 0	78社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第1四半期)の状況

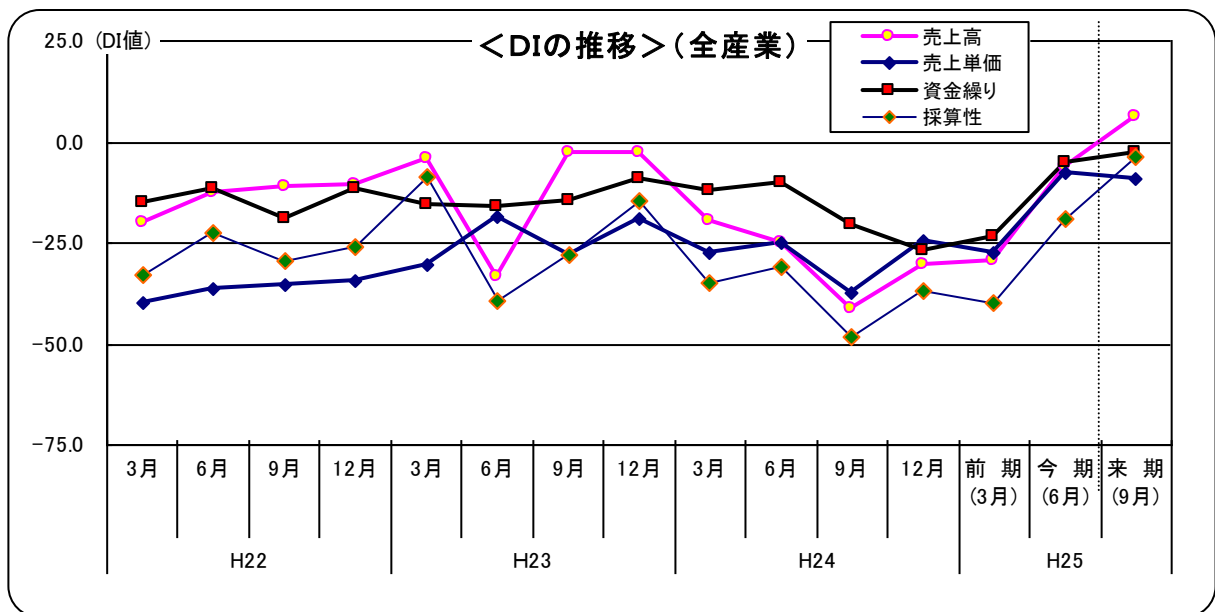
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	20.0	4.5	0.0	▲ 12.3	▲ 5.0	▲ 1.3	▲ 2.5	▲ 10.4
建設業	▲ 20.0	5.1	▲ 20.0	▲ 7.7	0.0	▲ 1.3	▲ 40.0	▲ 17.9
小売業	▲ 60.0	▲ 34.4	0.0	▲ 8.6	0.0	▲ 14.8	▲ 40.0	▲ 30.0
卸売業	▲ 37.5	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 8.2	▲ 12.5	▲ 10.2	▲ 37.5	▲ 18.4
サービス業	▲ 33.3	▲ 8.6	▲ 14.3	▲ 12.0	▲ 7.1	▲ 2.2	▲ 33.3	▲ 17.2
全体	▲ 6.4	▲ 5.7	▲ 7.8	▲ 10.4	▲ 5.2	▲ 4.4	▲ 19.2	▲ 16.8

来期(第2四半期)の状況

(単位:DI)

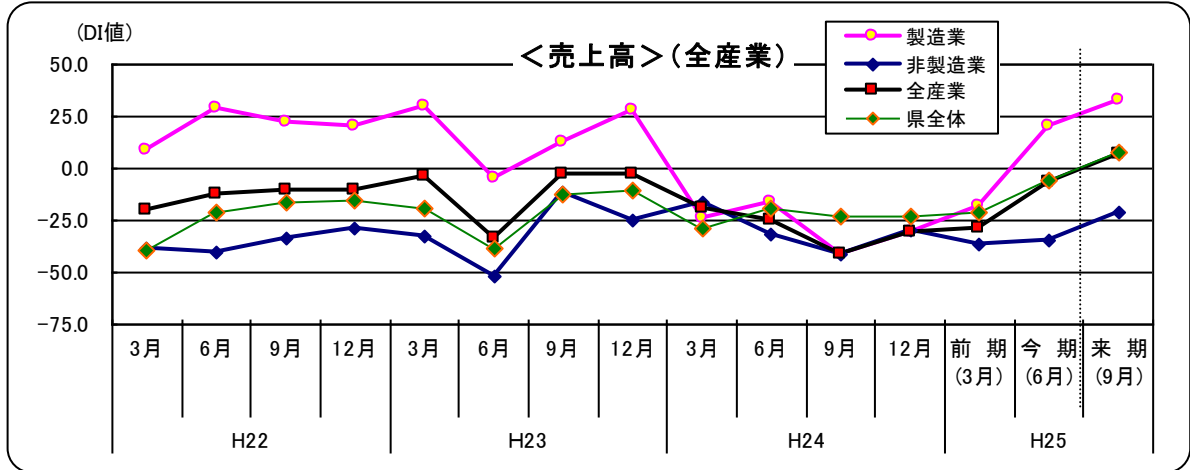
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	32.5	18.3	▲ 5.0	▲ 6.5	2.5	▲ 2.6	7.5	▲ 3.9
建設業	▲ 20.0	26.7	▲ 30.0	▲ 6.6	0.0	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 4.1
小売業	▲ 60.0	▲ 25.4	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 18.3	▲ 40.0	▲ 27.1
卸売業	▲ 12.5	▲ 4.1	▲ 12.5	2.0	▲ 25.0	▲ 6.1	▲ 12.5	▲ 10.2
サービス業	▲ 13.3	0.0	▲ 7.1	▲ 7.9	0.0	▲ 5.6	▲ 6.7	▲ 7.8
全体	6.4	7.3	▲ 9.1	▲ 7.0	▲ 2.6	▲ 6.6	▲ 3.8	▲ 8.7
改善予測(今回)	12.8	13.0	▲ 1.3	3.4	2.6	▲ 2.2	15.4	8.1
改善予測(H25.3)	9.5	20.8	8.8	5.9	7.9	4.5	11.4	10.8
改善予測(H24.12)	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 5.4	0.4	2.1	▲ 2.9	1.0	▲ 4.9



(2) 売上高

(単位:DI)

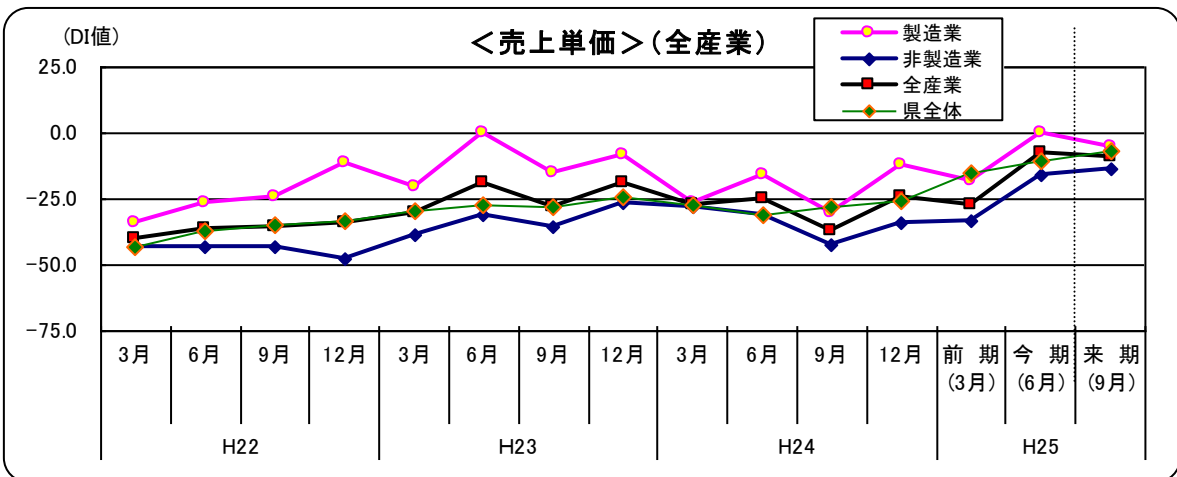
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	50.0	23.1	18.2	32.5	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 21.1	6.4	7.3
今期	25.0	7.7	27.3	20.0	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 34.2	▲ 6.4	▲ 5.7
前期	▲ 7.1	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 17.9	▲ 21.1	▲ 60.0	0.0	▲ 51.7	▲ 36.7	▲ 29.3	▲ 21.0



(3) 売上単価

(単位:DI)

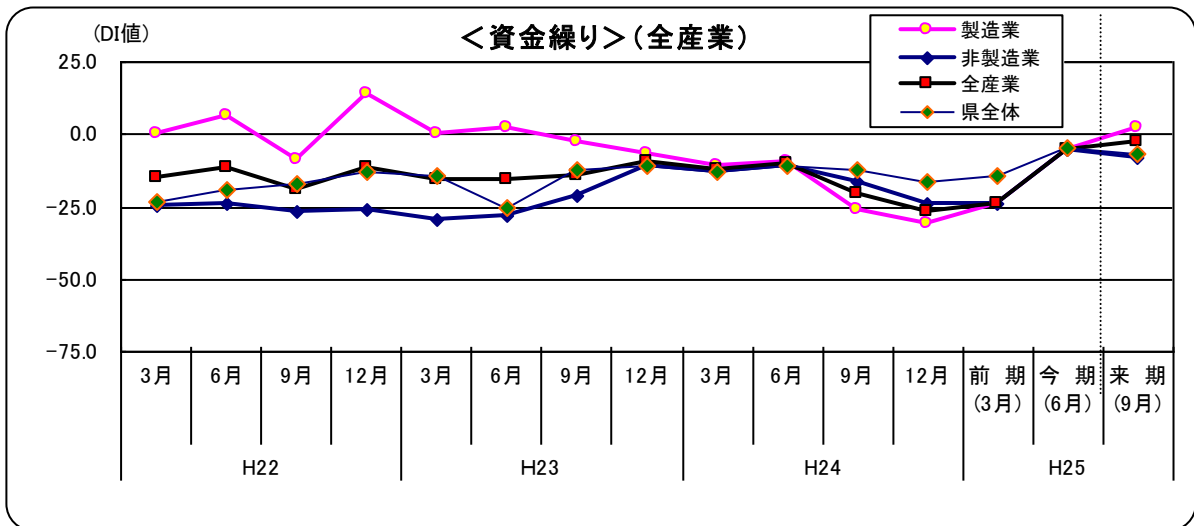
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 6.3	0.0	▲ 9.1	▲ 5.0	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5	▲ 7.1	▲ 13.5	▲ 9.1	▲ 7.0
今期	▲ 6.3	7.7	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 16.2	▲ 7.8	▲ 10.4
前期	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 18.4	▲ 36.8	▲ 40.0	0.0	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 15.1



(4) 資金繰り

(単位:DI)

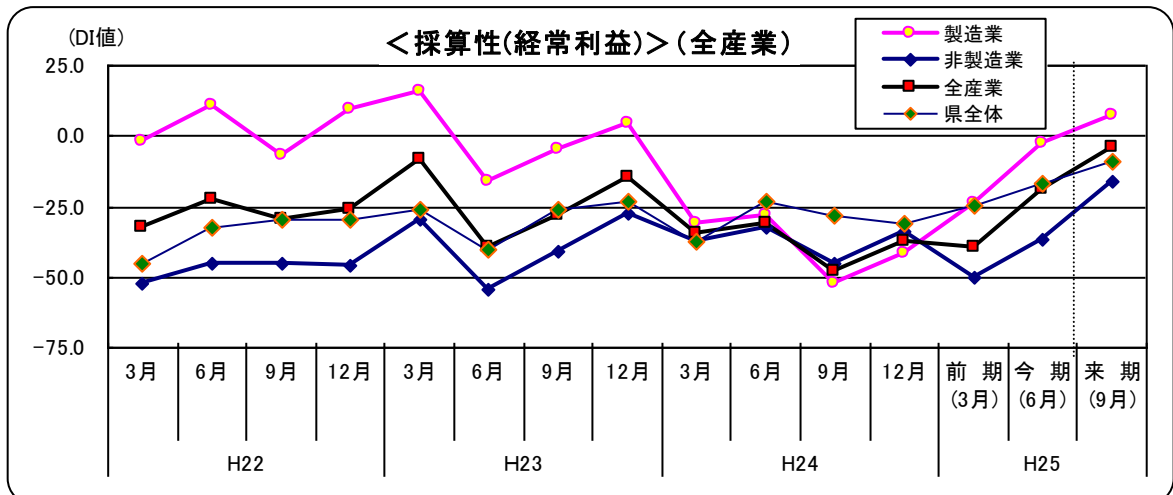
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	12.5	▲ 15.4	9.1	2.5	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 8.1	▲ 2.6	▲ 6.6
今期	12.5	▲ 15.4	▲ 18.2	▲ 5.0	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 7.1	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 4.4
前期	▲ 21.4	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 23.7	▲ 21.1	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 23.7	▲ 14.0



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

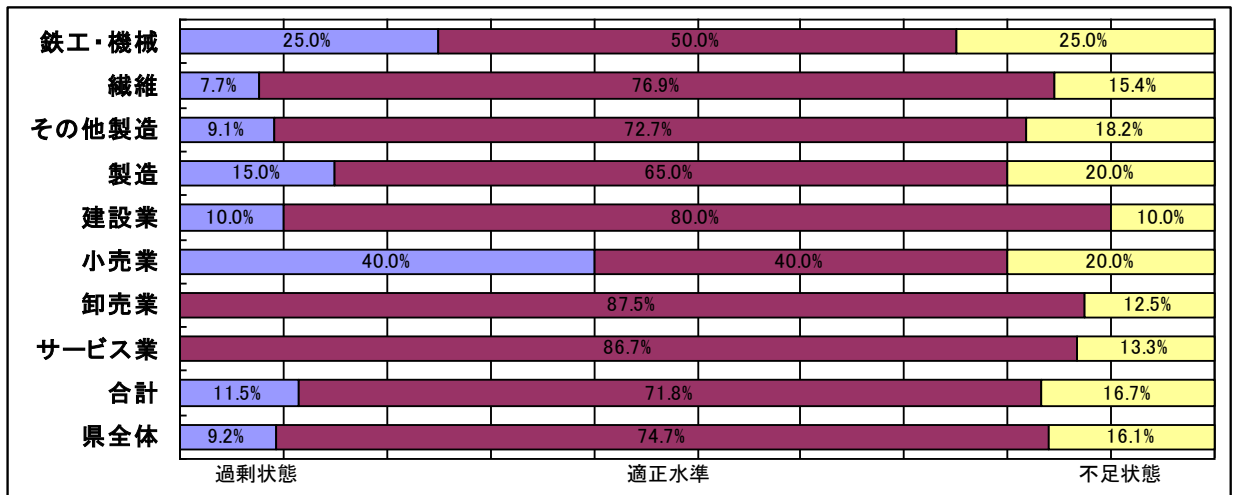
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	18.8	▲ 7.7	9.1	7.5	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 12.5	▲ 6.7	▲ 15.8	▲ 3.8	▲ 8.7
今期	6.3	▲ 15.4	0.0	▲ 2.5	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 36.8	▲ 19.2	▲ 16.8
前期	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 47.4	▲ 60.0	▲ 28.6	▲ 55.2	▲ 50.0	▲ 39.8	▲ 24.4



雇用情勢

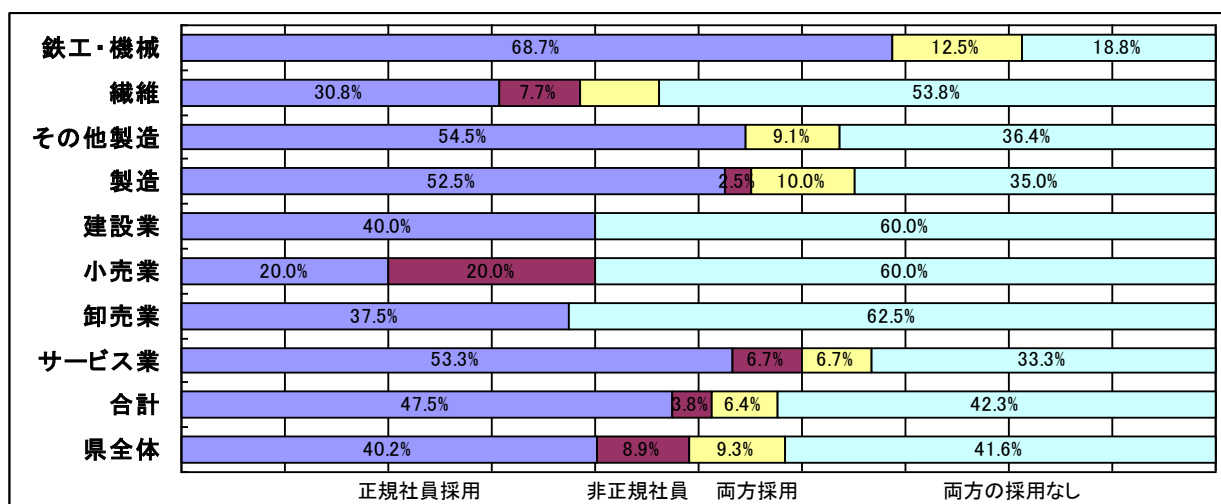
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	25.0%		50.0%		25.0%	
繊維	7.7%		76.9%		15.4%	
その他製造	9.1%		72.7%		18.2%	
製造業	15.0%	14.3%	65.0%	70.1%	20.0%	15.6%
建設業	10.0%	6.4%	80.0%	75.7%	10.0%	17.9%
小売業	40.0%	10.0%	40.0%	75.0%	20.0%	15.0%
卸売業	0.0%	4.1%	87.5%	89.8%	12.5%	6.1%
サービス業(運輸含む)	0.0%	5.4%	86.7%	73.1%	13.3%	21.5%
全体	11.5%	9.2%	71.8%	74.7%	16.7%	16.1%



2. 今期に社員の採用を行ないましたか

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	68.7%		0.0%		12.5%		18.8%	
繊維	30.8%		7.7%		7.7%		53.8%	
その他製造	54.5%		0.0%		9.1%		36.4%	
製造業	52.5%	45.7%	2.5%	9.3%	10.0%	10.6%	35.0%	34.4%
建設業	40.0%	34.2%	0.0%	13.2%	0.0%	2.6%	60.0%	50.0%
小売業	20.0%	22.0%	20.0%	10.2%	0.0%	8.5%	60.0%	59.3%
卸売業	37.5%	56.2%	0.0%	6.3%	0.0%	2.1%	62.5%	35.4%
サービス業(運輸含む)	53.3%	39.4%	6.7%	5.3%	6.7%	17.0%	33.3%	38.3%
全体	47.5%	40.2%	3.8%	8.9%	6.4%	9.3%	42.3%	41.6%



その理由をお聞かせ下さい

① 正規社員を採用した

定期採用
欠員補充
退職者補充
育児休業のため
若年層育成、社員の若返りのため
人が不足気味、将来に向けての体制の再構築
今後、求人募集が激しくなると想定。求職者数の減少
当社の場合、業務に関し専門職を養成する必要があるので、非正規社員は適切でない

② 非正規社員を採用した

非正規社員の退職に伴うもの
高齢化による退職等の補充

③ 正規社員、非正規社員の両方を採用した

適性人員の配置及び若年層の補填の為
新卒者定期採用、受注増に対応するため非正規社員を採用中
退社社員がいたことと、新規設備導入を行ったため
人員不足部分の強化を行うため
受注増のため

④ どちらも採用しなかった

来年、新卒生(高校)を考えている
稼働率の低下により、連休前まで雇用調整休日をとっていたので、必要なかった
売上が伸びず利益も減少中
現在の売上高からみれば適性人員のため
来期以降の受注不安定につき(顧客の海外生産移管に伴う)
先行き状況が弊社の業容からは不透明
シーズン学生バイトにて対応
家庭の事情(採用予定者の引越)
必要がなかった
北陸事業所は良好な業績見込だが、全体では業績が悪く採用不可であった

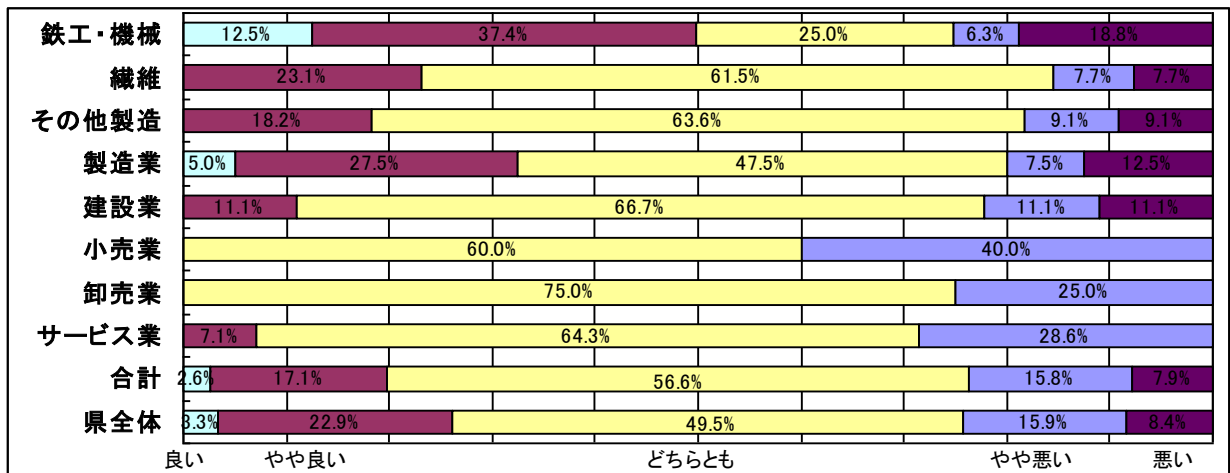
3. その他、雇用に関するご意見をお聞かせ下さい

中途入社が定着が悪い(製造業)
人はいるけど人財不足(建設業)
営業の申し込みがほとんどない(建設業)
工場現場の作業員の確保が困難(建設業)
就職希望者の情報をPC上で簡単に、いつでも見られる仕組みがあればよい(卸売業)
専門職(板金・塗装)の人員の採用を検討するも経験者、希望者が少ない(小売業)
求人に対しての反応が全くといってよいくらいない。月に1件問い合わせがあるかどうか。(小売業)
主力の鮮魚部門の高齢化で、新規採用しても女子ばかり来る。男子の若手が不足して困っている。(小売業)
当社の求める人材に対して、応募者が能力的に劣っていて、人材難の状況が続いている(サービス業)

景気の現状

6月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	12.5%		37.5%		25.0%		6.3%		18.8%	
繊維	0.0%		23.1%		61.5%		7.7%		7.7%	
その他製造	0.0%		18.2%		63.6%		9.1%		9.1%	
製造業	5.0%	5.4%	27.5%	23.5%	47.5%	47.0%	7.5%	15.4%	12.5%	8.7%
建設業	0.0%	3.9%	11.1%	36.4%	66.7%	42.9%	11.1%	10.4%	11.1%	6.5%
小売業	0.0%	0.0%	0.0%	13.1%	60.0%	52.5%	40.0%	21.3%	0.0%	13.1%
卸売業	0.0%	0.0%	0.0%	24.5%	75.0%	49.0%	25.0%	18.4%	0.0%	8.2%
サービス業(運輸含む)	0.0%	3.3%	7.1%	16.3%	64.3%	57.6%	28.6%	16.3%	0.0%	6.5%
全体	2.6%	3.3%	17.1%	22.9%	56.6%	49.5%	15.8%	15.9%	7.9%	8.4%



今期(第1四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	小松	県内	
仕入単価の上昇	29社 24.4%	21.8%	24.4%
需要の停滞、売上の減少	26社 21.8%	21.2%	21.8%
販売単価の低下・上昇難	15社 12.6%	14.1%	12.6%
経費の増加	14社 11.8%	13.7%	11.8%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	12社 10.1%	10.3%	10.1%
従業員の確保難	8社 6.7%	7.1%	6.7%
後継者の育成・確保	7社 5.9%	4.9%	5.9%
事業資金の借入難	1社 0.8%	1.2%	0.8%
金利負担の増加	0社 0.0%	1.6%	0.0%
その他	7社 5.9%	4.0%	5.9%

<仕入単価の上昇>

円安に伴い、糸の価格が高くなる(製造業)
ポリエステル原糸の値上り(製造業)
繊維の仕入れが、H24.11は @4,500/kg、H25.6は @7,000/kg (製造業)
洋紙の値上げが近々あるかも(製造業)
仕入材料(鉄)が上昇してきた(製造業)
石油精製製品(製造業)
円安による原材料コストが確実に上昇してきている(製造業)(建設業)(サービス業)
軽油の高止まり(製造業)(建設業)(サービス業)
原毛の減少と円安(小売業)
仕入先での原材料の値上り(小売業)(サービス業)

<需要の停滞、売上の減少>

設備、人を確保しているので売上減は経営を難しくする(製造業)
顧客の海外生産移管に伴う空洞化現象が予想される(製造業)
稼働率の低下(製造業)
公共工事の発注が少ない(建設業)
消費者の所得と物価上昇のバランスが悪い(小売業)
お客様の販売意欲がいまいち乏しい(小売業)
補助金等の制度終了後、新車購入需要は停滞している(小売業)
大型店・コンビニ等との競争(卸売業)
顧客数の減少(卸売業)
家庭用販売は節約意識の浸透で減少傾向(サービス業)
主要荷主の出荷量の減少(サービス業)

<販売単価の低下・上昇難>

工賃の低下はあっても、上昇は見込めない(製造業)
例年通りであるが、観光バスの受注減による(製造業)
販売先から値下げの要請がある(製造業)
ローコスト住宅の氾濫により、お客様が単価にシビアになっている(建設業)

競争が大変厳しい(卸売業)
デフレ(卸売業)
顧客の飲食単価が安い(サービス業)

<経費の増加>

短納期、受注増で人件費(残業代)の増加(製造業)
燃料ガス、消耗品等(製造業)
業績に関係なく、人件費の上昇は避けられない(製造業)
燃料価格の高騰(製造業)(サービス業)
営業が増えことによる、車やガソリン、人件費(建設業)
物価上昇(建設業)
大企業による賃金の高騰により、賃金を上げざるえず、人件費が増加(小売業)
燃料、光熱費のUP(卸売業)

<大企業の進出や過当競争による競争激化>

大手との価格競争(製造業)
県外・市外業者の参入(建設業)
ホームセンターの単価(卸売業)
小売市場で大手の進出、構成比が増大している(卸売業)
価格破壊。大手の売価は仕入先より安い。(小売業)
取引先中小零細企業進出による減収での業績低迷(サービス業)
電力業界との競争が激しい(サービス業)

<従業員の確保難>

中途採用時の人選が難しい(製造業)
ハローワークに臨時社員の求人をして、応募者が少ない(製造業)
物量増だか、全社業績が悪く、地元で採用ができない(製造業)
工場の現場要員の確保(建設業)

<後継者の育成・確保>

パート社員のスキルアップ(小売業)

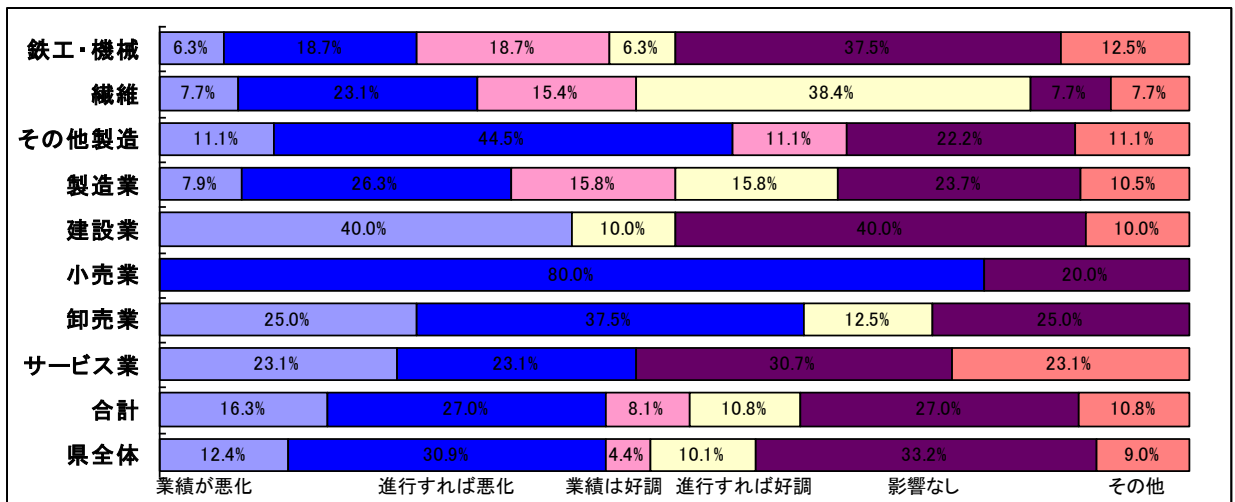
<その他>

組織の見直し(製造業)
海外子会社の人件費の上昇(製造業)
急激な増産、減少で、受注が不安定(製造業)
材料置き場の不足(建設業)
来年4月からの消費税増に対する価格交渉(卸売業)
取引先の倒産や業務縮小(サービス業)

円安の影響と対策

1. 貴社の経営への影響は(見込み含む)

	業績が悪化		進行すれば悪化		業績は好調		進行すれば好調		影響なし		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	6.3%		18.7%		18.7%		6.3%		37.5%		12.5%	
繊維	7.7%		23.1%		15.4%		38.4%		7.7%		7.7%	
その他製造	11.1%		44.5%		11.1%		0.0%		22.2%		11.1%	
製造業	7.9%	12.0%	26.3%	30.0%	15.8%	7.3%	15.8%	18.0%	23.7%	26.7%	10.5%	6.0%
建設業	40.0%	9.2%	0.0%	28.9%	0.0%	1.3%	10.0%	6.6%	40.0%	43.4%	10.0%	10.5%
小売業	0.0%	11.9%	80.0%	35.8%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	20.0%	37.3%	0.0%	13.4%
卸売業	25.0%	16.3%	37.5%	38.8%	0.0%	0.0%	12.5%	16.3%	25.0%	22.4%	0.0%	6.1%
サービス業(運輸含む)	23.1%	14.1%	23.1%	26.1%	0.0%	6.5%	0.0%	4.3%	30.7%	38.0%	23.1%	10.9%
全体	16.3%	12.4%	27.0%	30.9%	8.1%	4.4%	10.8%	10.1%	27.0%	33.2%	10.8%	9.0%



① 業績が悪化

輸入系のため、価格が上がる(製造業)
燃料(ガス)、油類の仕入単価の上昇(製造業)
材料費増大による収益差迫(製造業)
資材関係が高くなる。原価率が落ちる(建設業)
冬季仕入れの単価アップ及び円安による材料高(建設業)
軽油の値上り(建設業)
輸入品の値上がり(卸売業)
仕入れ価格の高騰(小売業)
燃料費の高騰による経費拡大(サービス業)
軽油価格等、石油製品の高騰(サービス業)
ガス販売価格は認可制であり、一方原材料価格は自由に高騰(サービス業)

② 今のところ影響はないが、更に進行すれば業績は悪化に転じる

電気代の増加、鋼材の値上げ(製造業)
燃料の高値安定が続いており、コストUPが厳しい(製造業)
物の価格が不安定になる(製造業)
売値に原糸高を上乗せできなくなる(製造業)
各種部品コストUP圧力が上がる(製造業)
原材料、燃料費の上昇(製造業)
円安による輸入品価格の高騰が、消耗品や原材料など、原価の上昇につながり、損益に悪影響を及ぼす(製造業)
仕入単価の急上昇が販売価格に乘せきれない(製造業)
円高時に価格低減された売価が据置の中で原材料が上昇している(製造業)
仕入価格が高騰しても、売価は据置の為(小売業)
仕入価格の急上昇(小売業)
輸入商品の仕入れは上昇したが、売価を上げるのは難しい(卸売業)
円安が進み輸入価格(原油等)が上昇しコスト高となる(サービス業)
売上減、利益減(サービス業)
輸入食品が高くなり悪化(サービス業)

③ 業績は好調

輸出の採算が好転するため(製造業)
円安による採算悪化要因はあるが、受注増で業績は良好(製造業)
建機関係の輸出が伸びる。但し、鋼材の値上げ等原価が上がる(製造業)
海外との価格差が縮まれば国内生産品の拡大が望める(製造業)
海外への投資が少なくなる(製造業)

④ 今のところ影響はないが、更に進行すれば好調に転じる

輸出の拡大(製造業)
輸出ドライブがかかり国内の在庫が減少(製造業)
輸入部分にデメリットはあるものの、全体で見れば輸出利益は大きい(製造業)
顧客の好転が見込まれる(製造業)

⑥ その他

円安の影響は直接ないが、円安進行により客先の競争力が向上するので、販売数量の増加が見込め、当社の受注増も期待できる(製造業)
仕入の値上げ対策を考えている(製造業)
メリット、デメリット両面あり(製造業)
資材、備品がどの様に上昇していくか、見当つかない(建設業)
海外産材料、燃料等による影響での材料高(サービス業)
円安については不透明、消費増税前の駆け込み需要に期待(サービス業)
取引先企業の業績低迷による取引基盤の劣化(サービス業)

2. 前問で「業績が悪化」「更に進行すれば業績は悪化する」と回答した方にお聞きします。
その対策を検討中のものも含めお聞かせ下さい

電気代については、デマンド対応策をとり、基本料金を下げた。鋼材については、更なる歩留の向上を狙っている(製造業)
販路拡大に努力中(製造業)
購入品の価格変動を客先に言えないので、どの様に転嫁していかねばならないか検討中(製造業)
販売単価の引上げ検討(製造業)
新しい顧客の開拓のために、試作を継続する。原系手当を早目にする(製造業)
他メーカーへの切り替えによるコストダウン。内外製の入替(製造業)
他素材に切替える工夫を施す(製造業)
経費削減(製造業)(建設業)
ガソリンや管材等、日本の材料ベースになっている全ての素材輸出による。大手輸出業者のみ収益UPであり、下部零細業者まで廻っていない(建設業)
従業員を減らすしかない(小売業)
早目の手当、仕入先との相談(小売業)
経費の見直し(小売業)
大型店やドラッグストア・コンビニに勝てる品揃え、サービス(卸売業)
商品の変更(卸売業)
輸入食品をなるべく使わない様にする(サービス業)
エネルギー問題の解決は、我々会社単位での努力ではとても解決は困難である。国が積極的に国内外でのエネルギー確保を図り、少しでも安価な原材料導入に真剣に取り組むべきだ(サービス業)
アイドリングストップ、エコ運転を推奨しているが、その方法にも限度がある。外注化を進めている(サービス業)
新規案件及び売上の増加を目指す施策を計画実施中(サービス業)

- 他に、商工会議所が取組む課題やご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

他地域から人が寄ってくる町づくり
大と中小企業格差を更に拡大させぬような取組みを
国、県、市の公共工事の発注を増やしてほしい
原材料価格が上がっても、製品価格は上がらず。国内生産の採算が良くなれば、雇用が増え、所得が増え、消費拡大となります。国内消費が拡大すれば景気が良くなります。それまでは厳しいと思われまます。
会合の連絡をメールで送ってくれるとありがたいです。
交際費の経費化実現に力を入れてほしい
受注確保のため、動いて頂きたい
電力費や燃料費などの値上げ防止へ、業界代表として反対キャンペーン等の先鞭

■ その他、ご意見などについてお聞かせ下さい。

①他地域から人が寄ってくる町づくり
②大と中小企業格差を更に拡大させぬような取組みを
③国、県、市の公共工事の発注を増やしてほしい
④原材料価格が上がっても、製品価格は上がらず。国内生産の採算が良くなれば、雇用が増え、所得が増え、消費拡大となります。国内消費が拡大すれば景気が良くなります。それまでは厳しいと思われます。
⑤会合の連絡をメールで送ってくれるとありがたいです。
⑥交際費の経費化実現に力を入れてほしい
⑦受注確保のため、動いて頂きたい
⑧電力費や燃料費などの値上げ防止へ、業界代表として反対キャンペーン等の先鞭

コメント:

①②③⑧

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を実施してまいります。

⑤

FAX及びメールの長所・短所を分析整理し今後の検討課題とさせていただきます。

④⑥⑦

小松管内で安定した経済活動が行えるよう、日本商工会議所や国・県・小松市、ハローワーク、税務署等を含む関係機関との連携をとり、適宜適切な要望活動を行ってまいります。

—小松商工会議所—